

# デジタル・ディバイド解消に向けた技術等研究開発

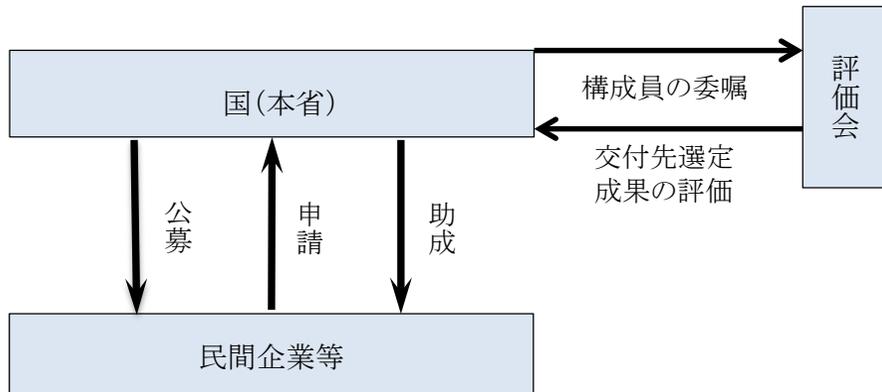
- ◆ ICTの進展は、日常生活をはじめとする多くの場面において、様々な恩恵をもたらしている一方、障害や年齢によるデジタル・ディバイドのために、その恩恵を十分に享受できていない者も多く存在している。
- ◆ デジタル・ディバイドを解消し、障害者や高齢者を含めた、誰もがIoT・AI等の先端技術も含めたICTによる恩恵を享受できる情報バリアフリー環境を実現するための助成を実施。

## 施策の概要

令和2年度予算額：199百万円の内数

高齢者・障害者の利便の増進に資する通信・放送サービスの充実に向けた、新たなICT技術等の研究開発を行う者に対し、その経費の2分の1を上限として助成を実施。

## 【助成イメージ】



## 【助成の具体例（令和元年度）】

### 駅構内を想定した視覚障害者の歩行誘導サービスの研究開発

地下鉄の駅構内に設置したQRコードからの情報とメガネ型ウェアラブルデバイスから得た情報をスマートフォンで統合し、クラウドサービスを利用しながら、道案内、駅構内情報、危険回避などを実現する

